

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース ■ 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4・5面 2026年度予算要求「新婦人秋の行動」署名/女性&メディア/ホットライン
- 6面 夏用品の片付け方/文化情報 ■ 7面 新婦人の活動/主張/母の歴史



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

脱炭素へ あきらめず 行動する



干ばつで枯れたトウモロコシ。アフリカの馬拉ウイ (写真提供：アフロ)

東京大学教授 江守 正多さんに聞く

日本中が猛暑と日照り、落雷と豪雨に見舞われ、だれもが「気候がおかしい」と不安をつよく感じています。今回のインタビューは気候科学者で東京大学教授の江守正多さん。日本の今をどう見ているか、どう行動していくことが必要かなど、若者や女性たちへの期待を聞きました。



えもりせいた 1970年生まれ。97年より国立環境研究所に勤務、気候変動リスク評価研究室長など。2022年より東京大学未来ビジョン研究センター教授。IPCC第5次、第6次評価報告書の主執筆者 (第1作業部会・科学的根拠)。

今夏の異常な高温は

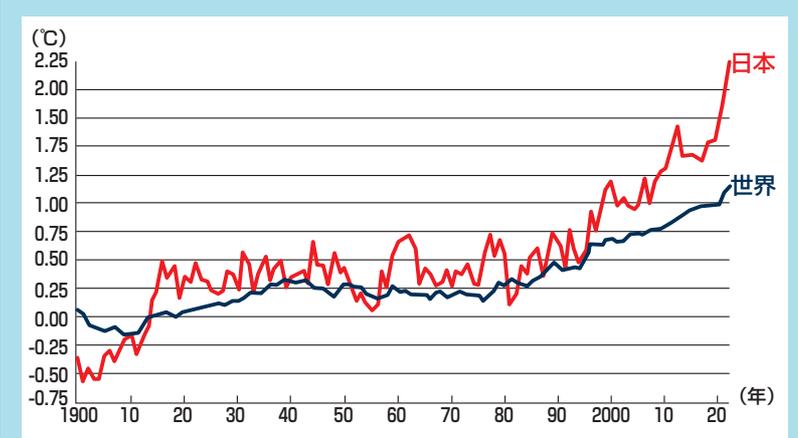
地球温暖化は長期的には一定のペースで進んでいますが、そこに自然の変動で揺らぎが生じ、気温が上がったり下がったりします。(右下図) 日本は今夏の異常な高温は、猛暑をもたらす気圧配置となり、平均的なペースよりも気温が上振れしたと考えています。また日本は温まりやすい大陸の風下にあたり、日本周辺の海も大きく温度上昇しています。海水温はすぐに冷めないの、水温の高い状況はしばらく続くと思います。沿岸で捕れていた魚が捕れなくなったり、農産物の収穫量減少など様々な影響が出ています。

夏場、特に深刻なのは、建設現場や農業など戸外での労働に従事する人たちで、非常に過酷な環境になっています。一定の暑さの中では休憩をとらねばならないなど、労働安全衛生法で義務付けられ

世界的には、気候変動の影響を特に受ける地域の一つが、アフリカや中東の比較的貧しい国です。ひどい干ばつが続く、たくさんの人々がヨーロッパの先進国に難民や移民として流入しています。

ヨーロッパ各国では移民排斥を掲げるナショナリズムが高まり、極右政党が勢力を拡大しています。アメリカのトランプ政権のようにナショナリズムを掲げた勢力が政権

世界と日本の6~8月の平均気温偏差



出典：気象庁 ※5年移動平均・偏差の基準値は1900-1929年の30年平均値 Yahoo!ニュースより

「自分が崩れ去ることを一番懸念しています。」
人々を見捨てない
決意を

気候変動に関する政府間パネル (IPCC)

各国の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えることを目的に、1988年に設立。世界中の科学者が協力し、科学誌などに掲載された論文等の文献に基づく定期的な評価報告書を作成。温暖化が主として人間活動に起因するとの確度は、新たな報告書が出るたびに高まっており、第5次報告書(2013~14年)では「可能性が極めて高い(95%)」、第6次(21~22年)では「人間活動の影響で大気、海洋、陸域が温暖化していることは「疑う余地がない」と明記された。

につくと、国際協調を求め、気候変動対策にも背を向けてしまつ。ナショナリズムの政権がほかの国でも広がると、気候変動対策が後退し、いつそ気候変動は進み、難民が増えるといった悪循環に陥るのではないか。私は、世界が協力して温暖化を止めるというビジョン

18年、IPCC(左)特別報告書は気温上昇を1.5度以下に抑えれば、2度以上よりかなり被害が抑えられ、それは社会の様々な改善の機会となり、今からとりくむことで実現は可能であると強調しました。(2面へ)

